

張 明紅

(Zhang Minghong)



華東師範大学副教授

華東師範大学学前教育及び特殊教育学院学前教育学系、幼稚園課程及び方法教研室主任。中国学前教育研究会幼稚園課程及び教学專業委員会委員、国家教育科学「第十次五カ年計画」のテーマである「0-3歳児の早期関心と発達」専門家メンバー。また長年にわたり、上海市婦人連合会「親子学苑」の特別招聘教授や上海嘉定区及び他の省や市の早期教育センター顧問を担当している。

主な研究分野：就学前児童の言語教育、0-3歳児の発達と教育、就学前児童の社会教育等。

主な研究成果：『就学前児童の言語教育』『幼児言語教育』『就学前児童の社会教育』『幼稚園教師への101の提案——言語分野』『3-6歳幼児心理と教育』等多数の編著が出版され、主編者として多数の全国レベル及び省・部レベルの幼稚園教材を出している。長年にわたって、就学前教育の中核的刊行物である『学前教育研究』『幼児教育』『早期教育』等の雑誌に、『早期読書についての考え』『言語教育活動の交差と融合』『0-6歳児童一体化教育モデルに関する研究』等30本以上の論文を発表し、進行中のものを含め科学研究テーマを数十項目完成させている。

中国の幼稚園における早期読書教育活動のデザインと実施

2001年に中国教育部が『幼稚園教育指導要領（施行）』を公布した後、中国で幼児教育に携わる多くの者がこれまでになかった情熱を持って幼稚園早期読書教育活動に関心を注ぎ、理論および実践の両面で研究活動を展開している。中国学前教育研究会カリキュラム及び教学専門委員会は2002年、2004年、2009年の計3回にわたって全国幼稚園早期読書教育学術シンポジウムを開催し、活動を展開、推進してきた。現在、中国幼稚園早期読書教育は、もはや単純な学科方式の教育内容・教育方法の枠組みに限定されることなく、多次元整合カリキュラム方式へ向けて発展している。

まず、早期読書活動において中国が力を入れて検討しているのは、早期読書における中国の文化的傾向である。たとえば中国の子どもが好む早期読書の読本はどのような本か？中国の幼稚園で行う場合、どのような形式があるか？中国文化の価値観と行動様式はどのように次世代に伝えていくのか？などである。そのほか、中国の子どもの創造性探求性の方向についての研究を進めている。たとえば中国の特色ある子どもの創造性発達の土台の構築を試み、幼児が早期読書過程で創造的な探求的学習を行うよう促進し、子どもが幼いころから言語運用学習と創造性探求の楽しい体験を得られるようにするなどである。また、中国の子どもの批評的思考へ向けても調査研究を行っている。中国の長い歴史発展過程において、その教育文化は子どもに対して、独立した観察・評論・分析・判断・論証等によって構成される綿密な思考と決定能力の育成に関心を注ぐことが少なかった。中国の幼児教育カリキュラム（早期読書を含む）の作成においては、中国の文化背景の特徴と結び付けながら、幼児の批評的思考の萌芽・発達に対し特別な関心を注いだ。

その次に、中国の特色に富む幼稚園早期読書教育目標体系を構築した。主に幼児の書き言葉学習への興味を高めること、本を好きになること、自発的に本を読む習慣を育てることである。いろいろな記号に興味を持って観察し、文字に対する好奇心と探求欲を持つことは、幼児が書き言葉と話し言葉の関連性を認識するのに役立つ。幼児が早期読書のスキルや、書き言葉を観察・模

做・予想する能力等を身につけるのにも役立つ。

さらに、「子ども中心」の幼稚園早期読書教育の内容について研究した。その内容は主に、子どもの絵本の読書、遊びの中の読書、生活の中の読書、環境の中の読書等の多元的な組み合わせなどである。

最後に、様々な形式の幼稚園早期読書教育活動をデザインし、実行した。子どものためにより読書環境を作り、オープン式の図書閲覧室と読書エリア活動を推奨して子どもに自由に読書させたことなどである。日常的に異なる年齢の子供が集まったの読書活動、教師の組織するグループでの読書活動、教師の個別読書指導、幼児の小グループの探求的読書活動、幼児の自主的読書活動、幼稚園が指導する保護者による親子読書活動などがある。